

参考 自然再生の基本的な考え方と原則

(1) 「自然再生」とは

過去に人為によって損なわれた自然環境を積極的に取り戻そうとする取り組みを「自然再生」といいます。その中には、自然をそのままの形で残すこと（保全）から、自然の質を高めるような工夫をすること（再生・創出）、自然環境の状態を長期間にわたって維持すること（維持管理）が含まれています。竜串湾の沿岸生態系の保全と再生に向けて、さまざまな取り組みを効果的に組み合わせることが重要となります。

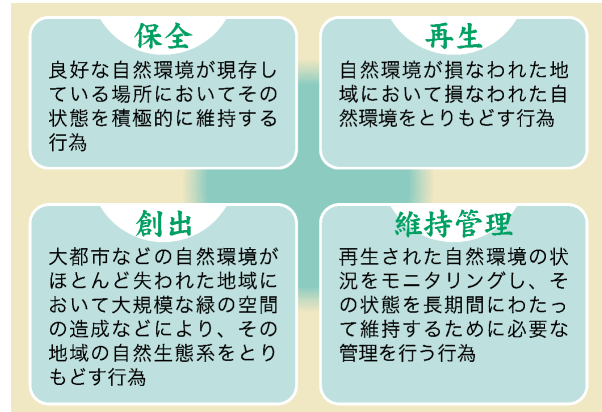


図 参考-1 自然再生の4つの再生活動

(2) 自然再生を実施するうえでの原則

自然再生推進法の基本理念と地域の特性を踏まえ、竜串自然再生に取り組むうえで重要な8つの原則を示します。全ての取り組みはこの原則に従って実施されます。

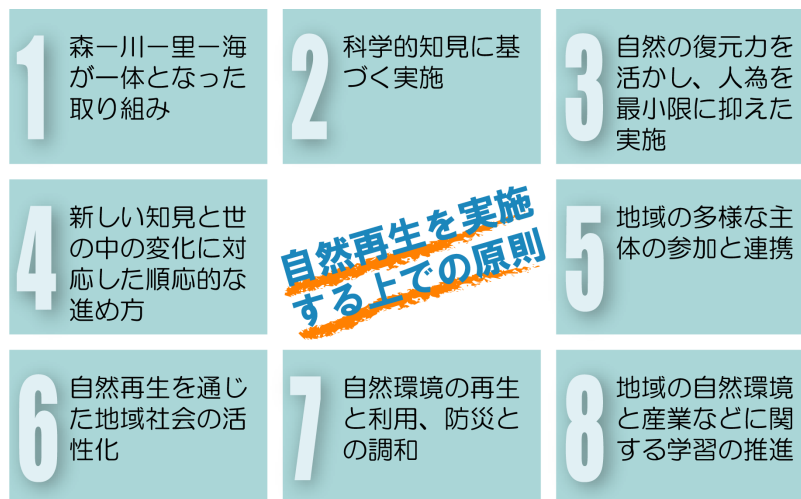


図 参考-2 自然再生を実施するうえでの原則

① 森－川－里－海が一体となった取り組み

竜串湾は、河川を通してその背後にある森林や地域社会とつながっています。このため竜串湾の沿岸生態系を保全・再生するための取り組みも竜串湾だけを対象とするのではなく、その沿岸生態系と深い関わりを持つ河川と森林、そして地域社会全体について、森－川－里－海が一体となった総合的な取り組みを進める必要があります。

② 科学的知見に基づく実施

竜串湾の沿岸生態系は多様な要素が複雑に関わり合いながら成り立っています。このため、自然環境が損なわれた原因や取り組みがもたらす影響を事前に十分調査し、科学的知見を集積しながら慎重でいねいな取り組みを実施する必要があります。

③ 自然の復元力を活かし、人為を最小限に抑えた実施

残された自然の保全を優先し、そのうえで自然の再生・創出を図ります。また、工事などを前提とするのではなく、自然の復元力を尊重し、人の手を補助的に加えることで自然の復元力を増強するような取り組みを進めます。

④ 新しい知見と世の中の変化に対応した順応的な進め方

竜串湾の生態系についてはまだわかっていないことが多く、また、回復には長い時間が必要となります。このため、事前に十分な調査を行い、取り組みの実施後も再生状況をモニタリングし、その結果を科学的に評価し、これを自然再生の手法に反映させる順応的な方法によって実施します。

⑤ 地域の多様な主体の参加と連携

自然再生は地域に固有の生態系や自然環境の再生を目指すものです。このため、どのような自然環境をどのように取り戻すかという目標や手法については、それぞれの地域の自主性や主体性が尊重されることが必要です。また、自然環境は全ての人々の生活と切り離せないものとなっています。持続的に取り組みを展開するためにも、多様な主体が参加・連携する必要があります。

⑥ 自然再生を通じた地域社会の活性化

生態系や自然環境の回復には長い時間が必要となります。地域が主体となって持続的に取り組みに関わっていくためには、再生の過程や成果が地域社会にとってもメリットのあるものでなければなりません。自然再生の長期的な利点を理解するとともに、再生の取り組みが地域の活性化に結びつくように工夫します。

⑦ 自然環境の再生と利用、防災との調和

竜串湾および湾に流れ込む河川の流域では、観光業や農林水産業をはじめとしたさまざまな地域産業が営まれています。これらの産業は2001（平成13）年の高知県西南豪雨災害によって大きな被害を受けました。自然再生の実施によって、地域産業が活性化するとともに、台風等の自然災害に対して防災力が向上するように工夫します。

⑧ 地域の自然環境と産業などに関する学習の推進

自然再生を進めるためには、地域住民のみならず多くの人たちが、地域固有の自然環境や産業、歴史・地理・文化への理解をいっそう深めていく必要があります。特に、「保全」や「維持管理」には、一人ひとりが環境を大切にする意識を持ち、取り組みを行っていくことが重要となります。そのために、積極的に環境学習の場を設けるとともに、学校教育などとも連携して未来を担う人材を育成します。